

取組と目標に対する自己評価シート（個票）

※このシートは、目標ごとに作成してください。

保険者名： 有田町

タイトル 介護予防サポーター養成事業

現状と課題

介護予防・閉じこもり予防・健康寿命延伸を目的とした住民主体の通いの場において、介護予防のための運動等の指導や講話を行える人材が不足している。これからは、若い世代が減少するので、専門職種ではない、高齢者が高齢者のお世話がができるような仕組みが必要である。

第8期における具体的な取組

住民主体の通いの場において、介護予防のための運動等の指導や講話を行える人材を育成するサポーター養成講座を引き続き実施する。

目標（事業内容、指標等）

令和3年度 人材の通算登録者数 55名

目標の評価方法

登録者数

実績評価（令和3年度）

■実施内容

講義3回（介護の現状と介護予防の必要性、認知症予防、ロコモティブシンドローム予防について、）口の働きと予防について、低栄養予防について）と実技8回を実施した。令和3年度修了者は9名（累計105名）

■自己評価結果

令和3年度の登録者は9名（本年度修了者10名）だった。コロナ感染症の影響もあるのか、参加者が少なかったが、修了者は地区の通いの場で活動されていて一定の効果はあったと考えられる。

■課題と対応策

地区の通いの場を立ち上げる場合には、サポーターの必要性を説明するので、立ち上げ予定の地区からは受講者があり卒業後は通いの場で活動されている。通いの場での活動されていない受講者については、受講内容を忘れることもあるため、復習等のフォローが必要である。